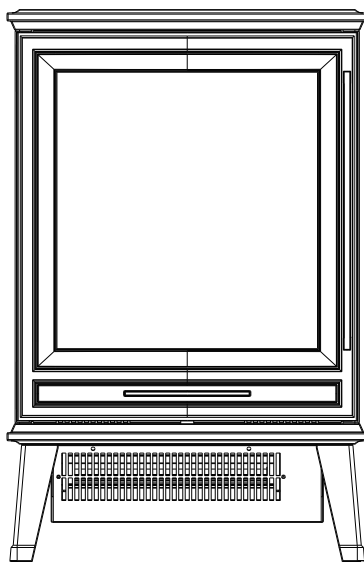


# 取扱説明書 (保証書付き)

## Laverton

ラヴァートン

型番：LVT12J



**Revillusion**  
レヴィリュージョン

このたびは、ディンプレックス電気暖炉をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解ください。  
お読みになった後はいつでも参照できるように、大切に保管してください。  
取扱説明書の最終ページには、保証書が付属しております。

### もくじ



- 製品の特長、安全上のご注意 . . . . . 1
- ご使用前に、各部の名称 . . . . . 4
- 同梱物、本体の設置 . . . . . 5
- 装飾物の配置 . . . . . 6
- 運転のしかた . . . . . 8
- 安全装置 . . . . . 10
- お手入れのしかた、保管のしかた、  
電源コードおよびプラグの点検 . . . . . 11
- 故障診断 . . . . . 12
- アフターサービス、仕様 . . . . . 13
- 保証書 . . . . . 15

# 製品の特長







- ラヴァートンは、その優れた炎の再現性で高い評価を得ている炎効果方式「オプティフレーム」をさらに発展させた「Revillusion（レヴィリユージョン）」方式を採用した電気暖炉です。本物と見まがうようなリアルな揺らぎを持つ疑似炎と、LED イルミネーション光による演出の相乗効果により、豊かな癒しと安らぎの空間を再現します。
- 本体底部にファンヒーターを内蔵。体を足元から暖めます。
- 立体成型により製造される複数の暖炉内部装飾部品を組み合わせ、暖炉の形状を自由に作り上げることができます。

## 【安全上のご注意】

- 以降に、この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するために重要となる注意事項が記載されています。注意事項をよくお読みになり、内容を必ずお守りください。
- 注意事項は、誤った製品の取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」と「注意」に区分されています。図記号と併せて内容をご確認ください。

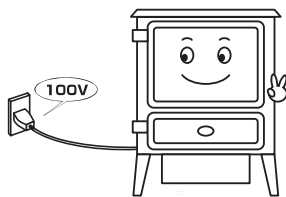
 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### ■ 図記号の例

 <p>この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を示しています（右の例は「高温注意」）。</p>	 <p>この記号は、してはいけない内容を示しています（右の例は「分解禁止」）。</p>	 <p>この記号は、しなければならない（強制）内容を示しています（右の例は「電源プラグをコンセントから抜く」）。</p>
 <p>高温注意</p>	 <p>分解禁止</p>	 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>

## 警告

- 電源プラグは、すぐに手が届く場所にある交流 100V の壁コンセントに直接差し込んでください。200V 電源は使用できません。

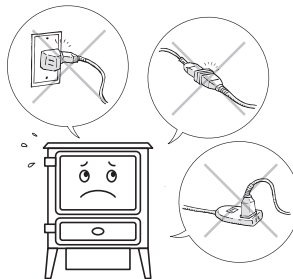


外付けのタイマーやセンサーなどと連動させた電源供給は、行わないでください。意図しない暖房運転が行われる危険性があります。

- 延長コードやテーブルタップは、絶対に使用しないでください。

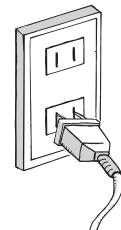


禁止



コードやプラグの過熱による発火の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差し込んでください。差込口のゆるいコンセントは、使用しないでください。



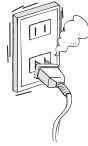
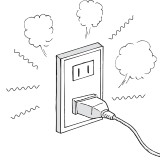
コンセントやプラグの過熱による発火の原因になります。

- 製品を落下させたり、目に見える損傷を受けた場合は、製品の使用を中止し、お客様相談窓口にて点検・修理をお申し付けください。
- 電源プラグやコードが破損したり、以下のような状態になった場合も、同様に製品の使用を中止し、お客様相談窓口にて点検・修理をお申し付けください。



電源プラグやコードが、極端に熱い。

電源プラグやコードを動かすと、電源が入ったり切れたりする。



製品に異常が発生したままの状態で使用を続けると、発火や感電の恐れがあります。

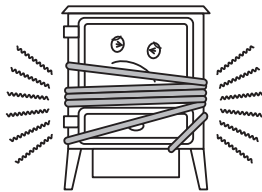
- オフシーズンなどで製品を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグやコンセントにホコリの付着などの汚れがある場合は、除去してください。これは、トラッキング現象の防止に効果的です。



トラッキング現象とは？

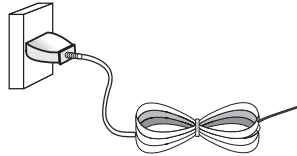
電源プラグやコンセントの周辺に付着したホコリなどが湿気を帯びると、プラグの電極間に異常な電流が流れ易くなります。この状態が長期間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、発火に至る場合があります。トラッキング現象の防止には、電源プラグやコンセント周辺の清掃が効果的です。

- 電源コードを本体に巻付けたり掛けたりしないでください。



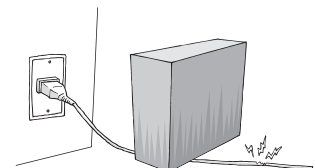
熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

- 電源コードを束ねたり巻き付けたりしたままで使用しないでください。



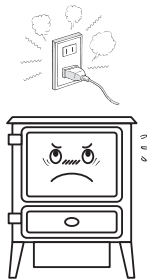
コードの放熱が不完全になり、過熱や発火の原因になります。

- コードに重い物を載せたり、傷付けたりしないでください。



発火の原因になります。

- ヒーターを、コンセントのすぐ下に設置しないでください。



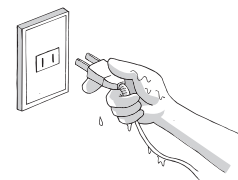
温められた熱気が電源コードを痛め、火災の原因となります。

- ヒーターを、コンセントのすぐそばで使用しないでください。



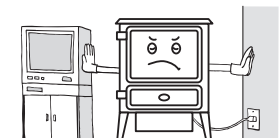
ヒーターの熱が電源コードを痛め、火災の原因となります。

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行わないでください。



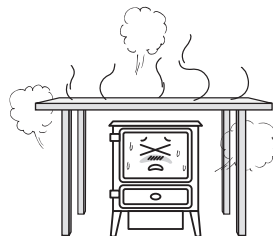
感電の恐れがあります。

- 本体の上、前後、左右に十分な空間を設けて設置してください。特にカーテン、毛足の長いカーペット、壁、家具、家電製品などにはご注意ください。



火災、変形、変色、故障などの原因になります。

- 押し入れや机の下など、極端に狭い場所で使用しないでください。



故障や熱変形などの原因になります。

- カーテンや衣類などの可燃物の近くで使用したり、本体に可燃物を掛けたりしないでください。



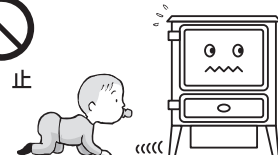
ヒーター本体や吹出す温風により可燃物が過熱状態となり、火災につながる恐れがあります。

※本体前面には、「覆い掛け禁止」を表す警告記号が表示されています。

- この機器は、安全な操作方法と危険性に対する理解をお持ちの方による指導や指示がある場合に限り、補助を必要とする方やお子様にも操作いただくことができます。

- 小さいお子様がこの機器で遊ばないようにご注意ください。

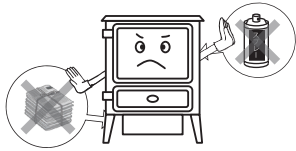
- 過度の飲酒などで正常な判断が困難な方や、操作に不慣れな方は、本機の使用を行わないでください。必ず操作方法や危険性への理解をお持ちの方が操作してください。



■スプレー缶などの缶、薬品や油、紙類などの燃えやすいもの、火のついたろうそくなどを、本体の上や近くに置かないでください。



禁止

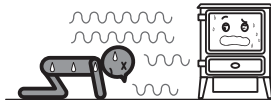


爆発や火災の原因になります。

■就寝するなど、長時間に渡りヒーターの直前で温風が当たり続ける事のないようにしてください。



禁止

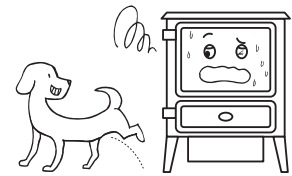


熱中症や低温やけどの恐れがあります。特に幼児や泥酔された方にはご注意ください。

■ペット用の暖房として使用しないでください。



禁止



歯や爪で電源コードを傷付けたり、排せつ物が絶縁劣化を引き起こして、発火の原因になります。

■本体や電源コードに水やお茶などの液体をこぼしたり、本体を液体に浸したりしないでください。

■お風呂やシャワーなど水がかかる恐れのある場所や、湿度の高い場所に置かないでください。

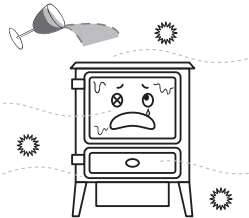
■本体の上に花瓶などの液体の入ったものを置かないでください。



風呂、シャワー室での使用禁止



水ぬれ禁止

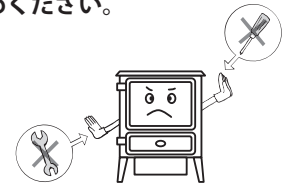


内部部品への水滴の付着や結露が絶縁の劣化をもたらし、火災・感電・故障の原因となります。

■お客様による製品の分解や修理は、お止めください。



分解禁止



発火や感電の恐れがあります。電源コードが破損した場合は、お客様で相談窓口にご連絡の上、点検・修理をお申し付けください。

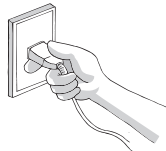
■製品には、装飾用の細かな部品が含まれています。お子さま口に入れたりしないよう、常にお子さまの手の届かないところに保管してください。

誤って飲み込むと、窒息などの原因となります。



# 注意

■電源コードをコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。

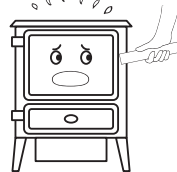


コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火の原因となります。

■外装の隙間に異物を差し込んだり、物を落としたりしないでください。



禁止

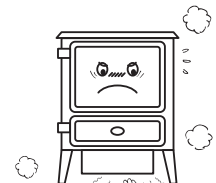


感電や故障の原因となります。

■ヒーターの温風吹出口は高温になります。使用中は手を触れないでください。



高温注意



特に小さなお子様には十分ご注意ください。お手入れは、本体が十分に冷めてから行ってください。

■本体は、水平かつ平らで安定した場所に設置してください。本体を傾けたり横倒しにした状態で使用しないでください。



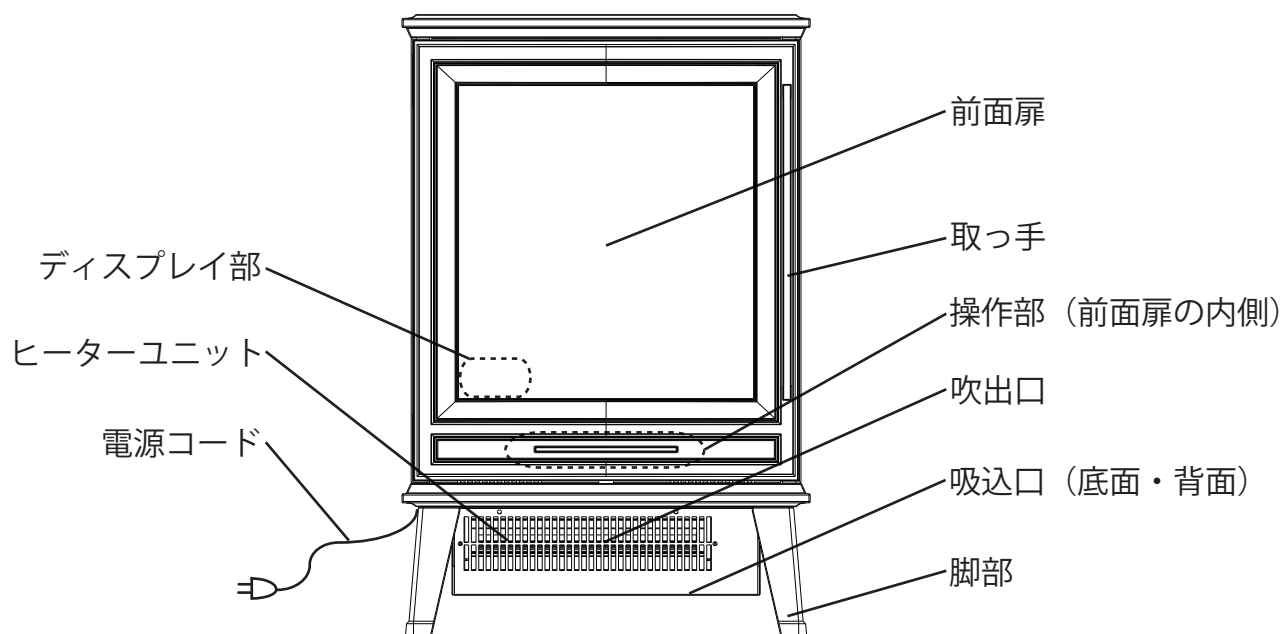
本体が倒れてけがをする恐れがあります。

## ご使用の前に・・・知っておいていただきたいこと

■ 製品のご使用に際して、予めご承知おきいただきたいことをご説明いたします。

- ①ヒーターを初めてご使用になる時や、長期間使用せずにいた後で再びご使用になる時、本体からにおいが出る場合があります。このにおいは、暖まった塗料やホコリ、湿気から出されるものであり、しばらくご使用になると自然に収まります。においが出た場合は、お部屋を十分に換気した上でヒーターをご使用ください。
- ②ヒーターを初めてご使用になる時、薄い白煙が出る場合があります。これは、部品に残存していた揮発成分が蒸発したり、ヒーター部などに付着した細かなほこりや湿気が加熱され舞い上がることにより生じますが、本体の故障ではありません。しばらくお使いいただくことで解消しますので、それまでお部屋を十分に換気した状態でご使用ください。
- ③お部屋の暖まり具合は、お部屋の断熱状況や材質、窓の位置やサイズ、ヒーター本体の設置場所などによって変わって参ります。状況によってはお部屋が暖まりづらくなる場合がありますが、本体の故障ではありません。
- ④契約されている電力量や、ヒーターをお使いになるお部屋のブレーカー容量によっては、ヒーターの使用時にブレーカーが落ちる場合があります。その場合は、電力契約量や、ヒーターを設置するお部屋で使用する総電力量の見直しなどが必要となります。
- ⑤ヒーターユニット（加熱部）正面の暖気吹出口近辺は、高温になります。特に、お子さまやお年寄りの方が触れたり、吹出口の前で就寝したりすることの無いよう、ご注意ください。
- ⑥静かな環境で炎効果をご使用になる時、わずかな動作音が聞こえる場合があります。これは内部の機構を動かすためのモーターなどから生じるものであり、故障ではありません。
- ⑦製品に同梱されておりますコイン型電池は、ご購入時における本体およびリモコンの動作確認用としてお使いいただくことを目的としております。ご使用中に消耗状態となり、リモコン操作が行えなくなった場合は、新品の同型電池（CR2032）にお取替えください。

## 各部の名称





# 同梱物

■開梱時に、以下の同梱物が揃っていることをご確認ください。

万一、不足品や破損品がある場合は、お手数ですがお買い求めいただきました販売店までご連絡ください。

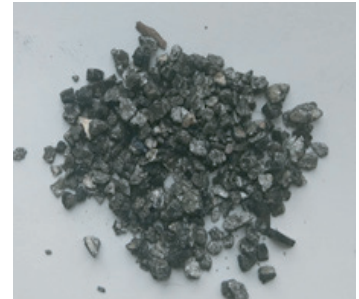
- ・電気暖炉本体
- ・リモコン（動作確認用電池同梱）
- ・取扱説明書（本書）
- ・薪セット（5本）
- ・装飾用アクリル材
- ・装飾用バーミキュライト（蛭石）材



薪セット（形状の異なる①～⑤の5種類があります。）



装飾用アクリル材



装飾用バーミキュライト材



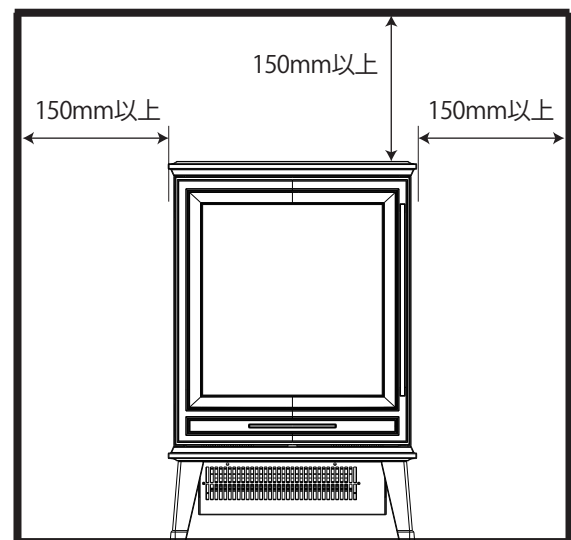
ご注意：細かい部品が含まれています。小さなお子さまが誤って口に入れたりすることの無いよう、十分にご注意ください。

# 本体の設置

## 設置の方法

- ・水平かつ平で安定した場所に設置してください。
- ・右図を参考に、製品の周囲に離隔距離（スペース）を設けてください。
- ・棚の下などのように奥まった場所には設置しないでください。
- ・本体の前面（温風吹出口側）には、1メートル以上のスペースを設けてください。

ヒーターは適切に設置してください。



高温注意：ヒーターユニット正面の温風吹出口は、ヒーター使用時に高温になります。特に幼児やお年寄り、泥酔された方へのご使用に際しては、周りの方が十分にご配慮ください。

# 装飾物の配置

■同梱の装飾物（薪セット、装飾用アクリル材、装飾用バーミキュライト材）を、以下の手順に従って電気暖炉内部に配置します。

- ①前面扉を、取っ手を持って開きます。本体内部に、装飾物を配置する面があります。
- ②まず、装飾用バーミキュライト材を配置面全体に均一に置きます。
- ③続いて、向かって左側奥に薪①を配置し、その上に薪②を立てかけるように置きます（図1参照）。



④図2を参考に、薪③、④、⑤を配置します。



⑤手前側に配置されている薪③および④の間の部分3箇所（図3の丸印を参照）にある装飾用バーミキュライト材を移動させて、下側からの演出光が透過できるようにします。





## 装飾物の配置（続き）

⑥装飾用アクリル材を、先ほど設けた3箇所の装飾用バーミキュライト材のすき間部分に置きます。まず、すき間部分をちょうど隠すように一部の装飾用アクリル材を置きます。続いて、全体的なバランスを見ながら好みの位置に残りのアクリル材を配置します。

装飾用アクリル材は、暖炉内の赤熱した灰や燃えさしを表現します。同梱されている分を全て使用して、見栄えを整えてください。

これで、準備作業は完了です。





# 運転のしかた

## ■ 運転前の準備

- ① 本体背面から出ている電源コードを、壁コンセントに差し込みます。
- ② 以下の手順に従って、リモコンにコイン型電池を取り付けます。
  - 1) リモコンおよび電池（CR2032；動作確認用）は、本体に同梱されています。
  - 2) リモコンの背面手前側にある電池収納部のふたは、+（プラス）ビスで固定されています。それをプラスドライバーを使って取り外します。ふたは、手前側にスライドさせ外すことができます。
  - 3) コイン型電池を正しい向き（「+」と印字された面が見えるように）で装着し、再びふたを閉じて+ビスで固定します。ビスはあまり強く締め過ぎないでください。

※電池収納部ふたは、必ずビスで固定してください。これは、万一の落下などでふたが外れ、小さなお子さまが電池を手にしてしまうことを防ぐためです。

※リモコンは、本体から5m以内でご使用ください。

※操作を正しく認識させるために、ボタンは2秒間に1回程度の速さでゆっくりと操作してください。

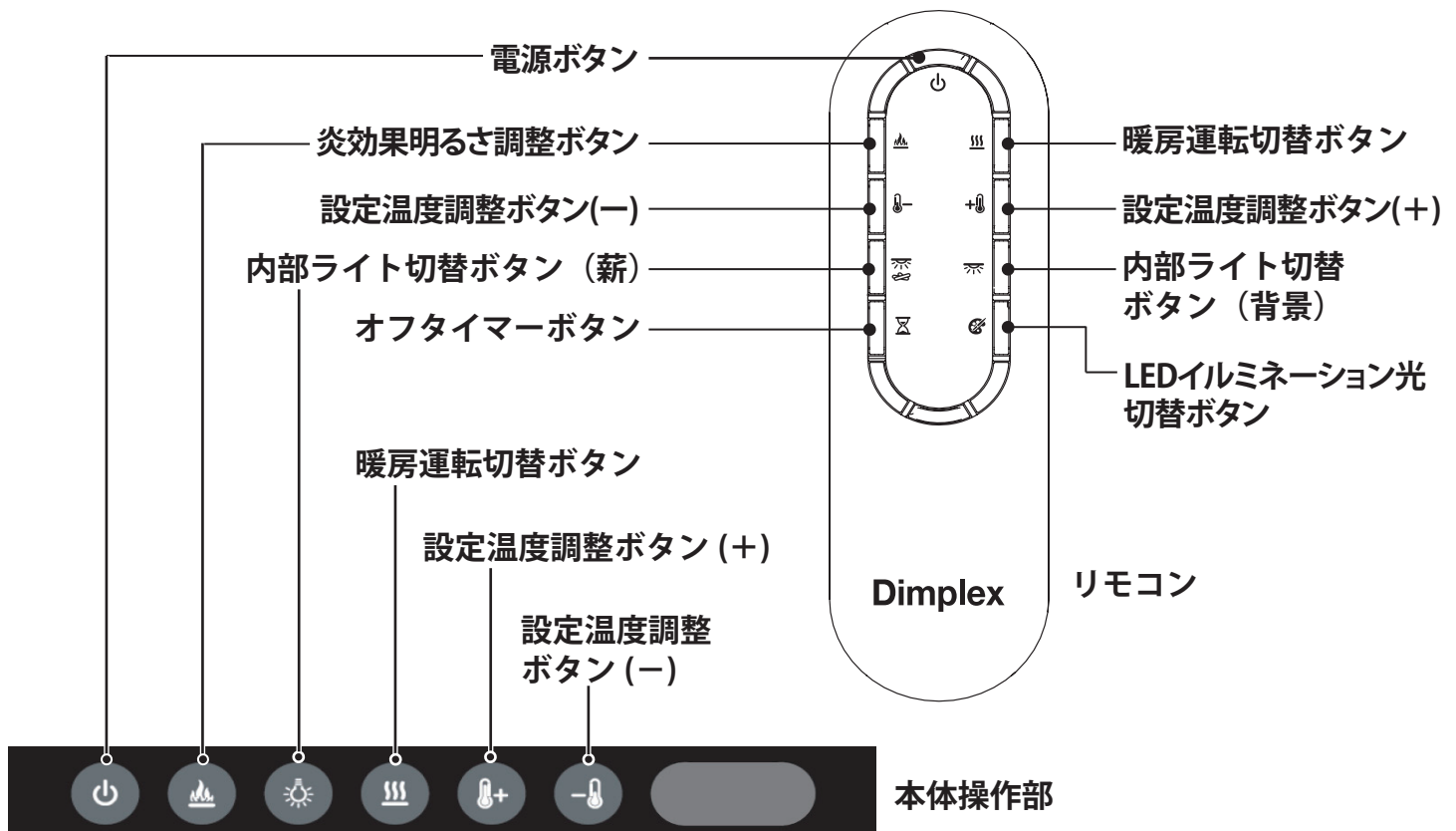


リモコン（裏面）














## ■ 操作部

- ① リモコン、もしくは本体の扉の内側下部に配置された操作ボタンを押して、操作を行います。
- ② 本体の動作状態は、正面左下にあるディスプレイ部に表示されます。
- ③ リモコン受光部は、ディスプレイ部にあります。リモコンを操作する場合は、リモコンをディスプレイ部に向けてボタンを押します。


## ■ 操作ボタン名称



# 運転のしかた(続き)




アイコン表示	ボタン名称	内容										
	電源ボタン	<p>押すたびに、本体は運転状態もしくはスタンバイ状態に交互に切り替わります。スタンバイ状態では、ヒーターおよび炎効果は「切」となります。</p> <p>運転の開始時、本体は前回スタンバイにした時の状態で動作を再開します。その際、ディスプレイ部に、周辺温度の数値がおよそ5秒間表示されます。</p> <p>電源プラグを抜くと、動作状態の情報は消去されます。次回電源を投入した時、本体は初期状態で運転を開始します。</p>										
	炎効果 明るさ調整 ボタン	<p>炎効果のモード、および明るさを調整する際に押します。ボタンを押すたびに、設定状態が変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンバイ状態でも操作可能です。</li> <li>・F 0：炎効果は消灯し、薪ライト、背景ライト、およびRGBライトが点灯します。薪ライトおよび背景ライトを、個別に消灯させることができます。</li> <li>・F 1、F 2、F 3：炎効果が点灯します。数値が大きくなるにつれ、炎効果の明るさが増します。]</li> <li>・P：炎効果の明るさがランダムに変化し、自然な炎の揺らめきを表現します。特に、周囲が暗い環境で電気暖炉をご使用になる場合は、「P」での運転を推奨いたします。</li> </ul>										
 本体操作部 リモコン	内部ライト切替 ボタン(薪)	<p>押すたびに、本体内部のライト(薪を照らす照明)を入/切します。周囲が暗い環境で電気暖炉をご使用になる場合は、「入」にすることを推奨いたします。</p>										
	暖房運転 切替ボタン	<p>ボタンを押すたびに、暖房運転が弱⇒強⇒送風⇒停止の順で切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンバイ状態でも操作可能です。</li> <li>・炎効果の運転中にヒーターの運転を開始を使用した時、およそ5秒間、本体のディスプレイ部に以下のような運転状態アイコンが表示されます。</li> <li>・ヒーターのみを使用した時、運転状態アイコンはディスプレイ部に継続して表示されます。</li> </ul> <p>※暖房運転停止後は、ヒーター部の温度を下げるために、しばらくの間送風運転となります。その後、送風は自動的に停止します。</p> <table border="1" data-bbox="512 1294 1473 1451"> <tr> <td>アイコン表示 (アイコンの色)</td> <td> (橙色) Lo</td> <td> (赤色) Hi</td> <td> (青色) cb</td> <td>—(表示なし)</td> </tr> <tr> <td>暖房運転状態</td> <td>弱運転</td> <td>強運転</td> <td>送風</td> <td>暖房運転停止</td> </tr> </table>	アイコン表示 (アイコンの色)	 (橙色) Lo	 (赤色) Hi	 (青色) cb	—(表示なし)	暖房運転状態	弱運転	強運転	送風	暖房運転停止
アイコン表示 (アイコンの色)	 (橙色) Lo	 (赤色) Hi	 (青色) cb	—(表示なし)								
暖房運転状態	弱運転	強運転	送風	暖房運転停止								
 設定温度 上 設定温度 下	設定温度 調整ボタン + / -	<p>暖房運転中に、設定温度を調整する際に押します。設定温度は、18℃～31℃の範囲で1℃刻みで設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室温設定が31℃の状態でもう一度“+”ボタンを押すと、“HH”がディスプレイ部に表示され、常に暖房運転「入」の状態となります(自動温度調整は行われません)。</li> </ul> <p>※室温が設定温度を上回ると、暖房運転は自動的に一時停止します(送風ファンが止まります)。</p>										
 リモコンのみ	オフタイマー 運転	<p>0.5時間～最大8時間のオフタイマーを設定することができます。オフタイマー時間は、リモコンのボタンを押す度に0.5時間刻みで長くなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暖房運転のみ、炎効果のみ、もしくは双方同時に機能します。</li> </ul> <p>※オフタイマーの残時間を確認するには、オフタイマーボタンを1回押してください。</p> <p>※オフタイマーをキャンセルするには、オフタイマーボタンを複数回押し、「8.0(最長のオフタイマー時間)」に設定を行った後、もう一度ボタンを押します。オフタイマー時間の表示が消灯し、キャンセル状態となります。</p>										
 リモコンのみ	内部ライト切替 ボタン(背景)	<p>本体内部のライト(背景の照明)を入/切します。炎効果の動作中にのみ有効となります。</p>										

## 運転のしかた(続き)

アイコン表示	ボタン名称	内容
 リモコンのみ	LEDイルミネーション光切替ボタン	本体内部のLEDライト(背景イルミネーション)を切り替えます。イルミネーションに光は、「A1」から「A6」までの6パターンがあります。

### ■その他の機能

※以下の機能は、本体の運転中に本体の操作部にて設定してください。リモコンでは設定できません。

アイコン表示	機能	内容
 同時に長押し	温度表示切替	「+」「-」両方の設定温度調整ボタンを、ビープ音が鳴るまで長押しします。温度表示の値が、摂氏(°C)もしくは華氏(°F)に切り替わります。(ディスプレイ部には、数値のみが表示されます。また華氏表示時、数値は64~87となります。)
 同時に長押し	暖房運転切替機能の停止 (本体およびリモコンによる操作を禁止とする)	暖房運転切替ボタンおよび設定温度調整「+」ボタンの両方を、同時に5秒間以上長押しします。本体操作部およびリモコンによる暖房運転の操作が行えなくなります。なお、炎効果は操作可能です。 この状態では、暖房運転切替ボタンや室温設定調整ボタンを押すと、ディスプレイ部に「-」が表示されます。 暖房運転を操作可能状態に戻すには、再び両ボタンを同時に長押しします。
 同時に長押し	暖房運転切替機能の停止 (本体による操作を禁止とする)	暖房運転切替ボタンおよび炎効果入/切ボタンの両方を、同時に5秒間以上長押しします。本体操作部による暖房運転の操作は行えなくなりますが、リモコンによる操作は可能です。また、炎効果も操作可能です。 この状態では、本体の暖房運転切替ボタンや室温設定調整ボタンを押しても、ディスプレイに何も表示されません。 暖房運転を操作可能状態に戻すには、再び両ボタンを同時に長押しします。

## 安全装置

### ■転倒時電源遮断装置

電気暖炉本体が傾いた場合、内部の転倒時電源遮断装置が作動し、ヒーターは自動的に運転を停止します。本体を正しく立てると、運転を再開します。

### ■本体温度過昇防止装置

暖房運転時に、本体下部のヒーターユニットにある通気口(吹出口、吸込口)が覆われるなどして、ヒーター内部が過熱状態となった場合、温度過昇防止装置が作動してヒーター出力が低下、あるいは暖房運転が自動的に停止します。

本体温度過昇防止装置を復帰させるには、まず電源プラグを抜いてヒーターを十分に冷ましてください。その後、過熱状態となった原因を取り除き(通気の確保など)、再び電源プラグを差し電源を入れます。

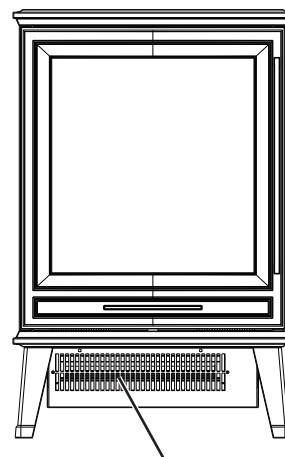
## お手入れのしかた

**安全で快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。**

※お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※本体各部が十分に冷えてから作業を行なってください。

- ①外装部分は、柔らかな布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。汚れが取れない時は、薄めた中性洗剤を使用してください。クレンザーやシンナーなどは表面を傷付けますので、使用しないでください。
- ②操作部や本体内部には、絶対に水がかからないようにしてください。
- ③前面扉のガラス部分は、セーム革を使用して注意深く汚れを拭き取ってください。
- ④前面扉内部の暖炉部分については、まず薪セット、装飾用アクリル材、および装飾用バーミュライト材を取り除きます。これらの部材は、ぬるま湯で洗浄してください。プラスチックのトレイ部は、柔らかな布に水を含ませ、固く絞ってから拭いてください。部材およびトレイ部が乾いてから、それらを再び元通りに配置してください。
- ⑤電源プラグにほこりやゴミが付着している場合は、掃除機で吸い取るなどして除去してください。
- ⑥ヒーターをご使用になる時期には、2週間に1度程度、ヒーターユニットの周辺のほこりを掃除機で吸い取り、除去してください。



**ヒーターユニット**

吹出口：前面

吸込口：底面および背面

## 保管のしかた

- ①シーズンオフや旅行などで長期間ご使用にならない場合には、電源プラグを抜いてください。
- ②本体内部にほこりなどが入らないように、ポリ袋などのカバーをお掛けください。
- ③ほこりの少ない乾燥した場所で保管してください。

## 電源コードおよびプラグの点検

- ①定期的に、電源コードやプラグの形状に異常がないか、確認を行ってください。万一、電源コードやプラグに傷や被覆の破れ、変形、がたつきなどが見られる場合は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜き、お客様ご相談窓口にご相談ください。特に電源プラグの付け根部分や、ケーブルが本体から出ている部分は、外部からの負荷がかかり易くなりますので、よくご確認ください。
- ②電源コードやプラグが手で持てないほど極端に熱い、あるいは動かすと電源が入ったり切れたりする場合は、内部の破損や断線が考えられます。直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜き、お客様ご相談窓口にご相談ください。異常が見られる状態での製品の使用は、火災や感電につながり大変危険です。



# 故障診断

症状	点検・原因	処置
電源が入らない。	電源プラグが外れていませんか？	プラグを正しく差しこみます。
	ブレーカーが落ちていませんか？	原因を解決してから復旧させます。
疑似炎が暗い、小さい、点灯しない。	故障の可能性があります。	お客様ご相談窓口へお問い合わせください。
操作部扉や扉内のスイッチ周辺が熱い。暖房運転が時々止まる。	ヒーターユニットの吸込口が、じゅうたんなどで塞がれていませんか？ 空気を遮るような物が置かれていませんか？	空気の流れを阻害する物を取り除きます。
	吸込口や吹出口に、多量の綿ぼこりなどが付着していませんか？	清掃を行い、ほこりを取り除きます。
疑似炎のみを運転しているが（ヒーターは使用せず）、本体が暖かい。	疑似炎用 LED ライトの発光により本体内部の温度が上がりますが、故障ではありません。	故障ではありません。
異音がする。	疑似炎メカニズムの動作音がしますが、故障ではありません。 ファンの回転音や風切り音がしますが、故障ではありません。	左記の原因によらない大きな音が継続して発生する場合には、お客様ご相談窓口へお問い合わせください。
電源プラグが熱い。電源コードが熱い。電源コードを動かすと電源が切れる。	電源プラグの異常、電源コードの半断線などの可能性があります。	お客様ご相談窓口へお問い合わせください。
ヒーターに通電するとブレーカーが働く。	ブレーカー容量以上の機器が接続されていませんか？	接続機器を減らします。
温度表示の数値の値が大きい（60、70 など）。	温度が「華氏」で表示されていませんか？ 取説の「運転のしかた～その他の機能」をご参照ください。	「摂氏」表示に設定します。
暖房運転切替が効かない。	「暖房運転切替機能の停止」設定になっていませんか？ 取説の「運転のしかた～その他の機能」をご参照ください。	「暖房運転切替機能の停止」を解除します。
白煙が出る。	初めてヒーターをお使いになる場合、もしくは長期間使用せずにした後で再びご使用になる場合に、製品組み付け時に残存していた揮発成分が加熱されて揮発することや、ヒーター部などに付着した細かなホコリや湿気が加熱されて舞うことがあります。このようなときは、お部屋を十分に換気した上でご使用ください。	
においがする。	初めてヒーターをお使いになる場合、もしくは長期間使用せずにした後で再びご使用になる場合に、ホコリや湿気でにおいが出る場合があります。このようなときは、お部屋を十分に換気した上でご使用ください。1 日程度のご使用で解消します。	

上記の内容を確認しても原因が不明な場合は、販売店様もしくはお客様ご相談窓口へお問い合わせください。電源コードが破損した場合は、お客様ご相談窓口にて修理をお申し付けください。お客様ご自身による修理は、発火や感電、負傷などの原因となり、大変危険です。

# アフターサービス

1. 製品の使用中に異常が生じた場合には、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店様もしくはお客様相談窓口へご相談ください。
2. 保証期間内の修理につきましては、保証書に記載された規定に基き、無料で行います。
3. 保証期間経過後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合にのみ、お客様のご要望により有料で修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。
5. 販売店様もしくはお客様相談窓口へご相談をされる場合には、下記の内容をご連絡ください。
  - ①製品名、型番
  - ②症状（まず取扱説明書の「故障診断」をご確認ください。）
  - ③お買上年月日（保証修理をお受けになる場合は、ご購入元および購入日がわかる資料が必要です。〔販売店様の印やサイン、シール、あるいはご購入を証明するレシートなど。〕
  - ④お客様のお名前、ご住所、電話番号

## お客様ご相談窓口



TEL 0120-583-570 FAX 0295-55-8523

株式会社 バーグマン 【受付時間：平日 9:00～17:00】

### ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

株式会社 バーグマンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通りお取り扱いいたします。

- ①個人情報を、本製品に関するご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残す場合がございます。修理やその確認業務を協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
- ②個人情報を、適切に管理いたします。
- ③個人情報に関するお問い合わせは、「お客様ご相談窓口」にて受け付けいたします。

## 仕様

製品名	ディンプレックス電気暖炉 Laverton
型番	LVT12J
暖房目安	3畳（木造住宅）～8畳（コンクリート住宅）
電源	100 [V] 50/60 [Hz]
消費電力	1,200 [W]（ヒーター 1,187[W]）
外形寸法	幅 444 [mm] × 高さ 680 [mm] × 奥行 352 [mm]
製品質量	22 [kg]
安全装置	過昇温度防止装置、転倒時電源遮断スイッチ

※暖房目安は、(社)日本電機工業会自主基準により算出しております。